

十二月の休館	6日(日)	29日(日)
	13日(日)	30日(月)
	20日(日)	31日(火)
	27日(日)	



くずの花

やすらぎ

揮毫 林 茂

北九州市立葛原市民センター
 小倉南区葛原本町3丁目4-34
 TEL 475-2185
 FAX 475-2186

葛原市民センターホームページ <http://www.ktqc01.net/mina/khsf/>

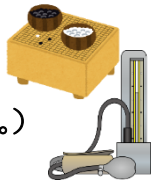
発行人：前田 純恵

12月の予定 ★行事予定は変更・中止になる場合があります

日	曜日	行 事	時 間
4	金	安全安心パトロール 1班・3班	15:30~16:30
5	土	わいわい市場葛原	11:00~売切れ終了
12	土	生き生き葛原っ子(おげ ちかおげ -)	10:00~12:00
		葛原の歴史発見 おしゃべりカフェ	10:00~12:00
18	金	安全安心パトロール 2班	15:00~16:00
		安全安心パトロール 4班	20:00~21:00
		講座 ステージUP☆(クッキング)	19:00~21:00
21	月	健康マイレージ 測定会	10:00~12:00
22	火	はつらつ会 地域でGOGO健康づくり会議	13:30~15:30
23	水	講座 気軽っちゃサロン葛原	10:00~12:00
25	金	葛原子育て広場(クリスマス会)	10:00~12:00
26	土	ふれあい子ども隊(新町楽体験)	10:00~12:00
		わいわい市場葛原	11:00~売切れ終了

☆いこいの広場(葛原囲碁会)

毎週土曜日 今月：5日・12日・19日・26日



☆血圧測定とおしゃべりの会(どなたでも参加できます。)

毎週火曜日 今月：1日・8日・15日・22日




わいわい市場葛原

12月5日(土)、26日(土)
 11:00~売切れ終了

★マスクの着用をお願いします。
 ★エコバッグをご持参ください。

次月開催予定 1月9日(土)
 主催 まちづくり協議会



令和2年 年末企画

「もち米・つきもち」予約販売のお知らせ

*予約期間：12月17日(木)まで

*販売価格：もち米 1kg・・・500円

つきもち 1kg・・・650円

(購入はkg単位でお願いします。)

*お渡し日：12月26日(土) わいわい市場

当日、代金と引き換えになります。

*申し込み：葛原市民センター ☎475-2185

主催 まちづくり協議会



葛原市民センター職員募集のお知らせ

- 募集人員 昼職員 若干名
- 勤務条件
 - 勤務時間 9:00~17:00(うち休憩45分以上)
月曜~土曜のうち週4日勤務
 - 雇用期間 令和3年4月1日~令和4年3月31日
(実績により最長5年まで継続更新あり)
 - 賃 金 時給850円
- 業務内容 事務処理や地域活動の連絡調整に関すること
- 応募資格
 - 葛原小学校校区に住む方で、ボランティア精神旺盛な方
 - 地域活動に熱意と関心のある方
 - 簡単なパソコン操作ができる方
- 応募方法 市販の履歴書に写真を貼付し、必要事項を自書の上、葛原市民センターに持参または郵送(履歴書は返却しません)
- 応募期間(期間厳守・必着) 令和2年12月1日(火)~令和3年1月12日(火)
- 宛先・お問合せ 〒800-0253 小倉南区葛原本町3丁目4番34号
葛原市民センター内 葛原校区まちづくり協議会
TEL 475-2185 FAX 475-2186
※応募要項はセンターにあります

年末年始休館日のお知らせ

12月29日(月)~1月3日(日)まで市民センターはお休みです。
古紙・リサイクルボックスのご利用は、12月28日(月)13:00までです。不審火の原因となりますので、倉庫の前に放置しないようお願いいたします。1月4日(月)より開館します。

気軽っちゃサロン葛原 参加者募集(参加費無料)

毎月第4水曜日 10:00~12:00 各回 定員30名

新型コロナウイルス感染症に十分配慮して開催します。

お申込み・お問合せ：葛原市民センター☎475-2185

12月23日 心と体を元気にする薬膳茶

~薬膳茶の効能を知ろう~

講師 国際薬膳調理師フードコーディネーター
北村 眞知子 氏



1月27日 音楽する喜び

~音楽の魅力や歴史を学ぼう~

講師 元高等学校音楽教諭
田中 秀一 氏



八幡製鉄所の歴史と世界と日本の鉄鋼業

気軽っちゃサロン葛原 10月28日

KITA(北九州国際技術協力協会) 参与の工藤和也氏をお招きして、八幡製鉄所の歴史や、鉄鋼業界の現状についてお話を伺いました。八幡製鉄所は、官営製鉄所として明治34年の操業開始以来、一貫して日本鉄鋼業界のけん引役を担ってきました。参加された方たちは、日本の産業革命の出発点が八幡製鉄所建設であったこと、日本の粗鋼生産量が世界3位であること、日本の技術力の高さ、CO2の削減が今後の課題であること等について熱心に聴き入っていました。

